

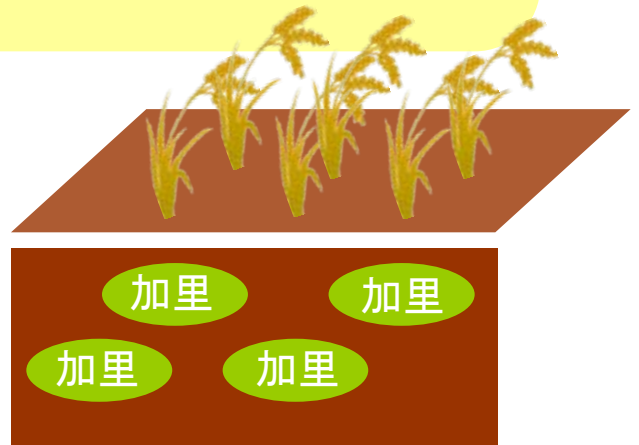
加里肥料を減らしても大丈夫！

～水稲低コスト栽培法への提案～

水稲栽培では、加里の施用量を減らしても、多くの場合水稲への収量、食味、品質への影響はみられません。

作土の加里含量や、水稲の加里吸収量は減少しますが、加里供給量の少ない砂の多い土壤でも土壤診断基準値を満たしていれば問題はありません。

土壌の加里飽和度が
2%以上あれば
加里欠乏症状は
みられません。



加里飽和度とは？

土壌が塩基を保持する能力のうち、加里がくっついて
いる割合のこと。

○県内土壤診断基準値(加里飽和度)
2～5%

○県内の中粗粒質灰色低地土(砂の多い土壤)
の平均加里飽和度

3.7%

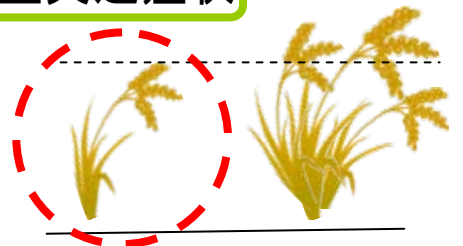
でも！

加里欠乏症状が見られたら、直ちに収量への影響は見られませんが、加里肥料を施用しましょう。

加里欠乏症状

こんな症状が見られたら

注意！



加里肥料を
施用しましょう。

- 穂数が少なくなる
- 草丈が低くなる

表1 加里施用の有無が収量、品質に及ぼす影響（土壤中加里飽和度:1.8~2.8%）

試験年数	精玄米重(kg/10a)			たんぱく含量(%)			検査等級(1-9)		
	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目	1年目	2年目	3年目
施用	454	458	441	7.2	6.8	7.9	1等	1等	1等
無施用	487	430	426	7.3	7.0	7.8	1等	1等	1~2等

- ・施用、無施用すべての数値で統計的な有意差はない
- ・加里無施用試験3年継続、試験以前は慣行栽培

土壤の加里含量が土壤診断基準を満たしていれば、加里肥料無施用でも収量・品質に差はみられない。

加里無施用を続けると土壤の加里飽和度は減少する。
(適切な時期に加里を補ってやる必要がある。)

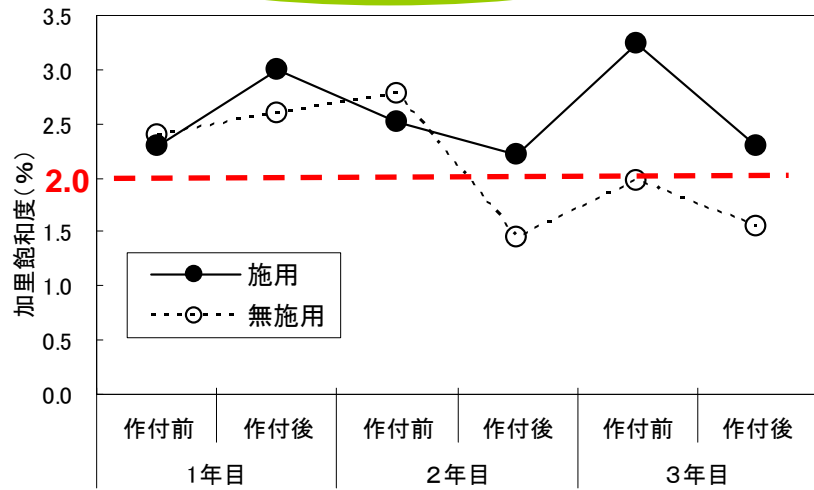


図1. 加里飽和度の推移

表3 加里欠乏症状ほ場における水稻への影響（加里施用に対する無加里区の指数）

項目	指数
土壤（加里飽和度）	63
草丈（幼穂形成期）	93
稈長	92
乾物重（幼穂形成期）	96
乾物重（出穂期）	87
加里吸収量（幼穂形成期）	69
加里吸収量（出穂期）	67
穂数	94
総籾数	85
収量	98

草丈が低くなる

加里吸収量は減少している

穂数の減少

- ・土壤(加里飽和度)は作前・作後の平均値
- ・加里無施用栽培を6年継続しているほ場

(問い合わせ先)

鳥取県農林総合研究所農業試験場
環境研究室 TEL (0857)-53-0721

本書から転載・複製する場合は、必ず鳥取県農業試験場の許可を受けてください。